

テルミー

土から土へのリサイクル

コンポスター[®]

生ゴミ処理容器



- 生ゴミを手軽に毎日処理できます。
- 犬、猫、鳥等による臭いや騒音が防止されます。
- 臭いが押さえられます。
- 生ゴミの運搬・焼却のムダがなくなります。
- 豊かな土壌が再現されます。
- 据え付けが容易です。
- うしろ返し設計
(D-70型、130型、230型)

構造特長



水分除去型機構

フタに結露した水分は、本体上部溝で受け、隅から外部へ流出、蒸発します。(D-70型のみ)



本体・フタの接合が2重でしっかりしていて臭気が外に出にくい設計です。雨水が入りません。(130型、230型)

●衝撃に強い

高密度ポリエチレン製

5年間保証付き

「財団法人グリーンジャパンセンター会長賞」



東洋テルミーは平成4年度資源化貢献企業として表彰されました。

形 式	用 途	容量	サイズ(mm)/重量	定 価
D-70型	一般家庭(3~4人)	70L	450×450×686/ 2.8kg	¥7,600
130型	一般家庭(4~6人)	130L	600φ×660/ 3.4kg	¥8,000
230型	庭ゴミ等の多い一般家庭	230L	800φ×680/ 5.0kg	¥11,000
300型	寮・食堂・多人数	330L	840φ×818/ 7.0kg	¥17,000
500型	学校・公園・病院、等	530L	950φ×990/10.5kg	¥29,000

※ 価格には消費税は含まれておりません。

⚠ 注意

- 本品は生ゴミ処理専用の容器ですのでそれ以外の目的では御使用にならないでください。
- 生ゴミを投入したら速やかに手を洗ってください。
- 生ゴミ投入後ふたは必ず閉めてください。



グリーンジャパンセンター

D-70型



130型



230型



300型



500型



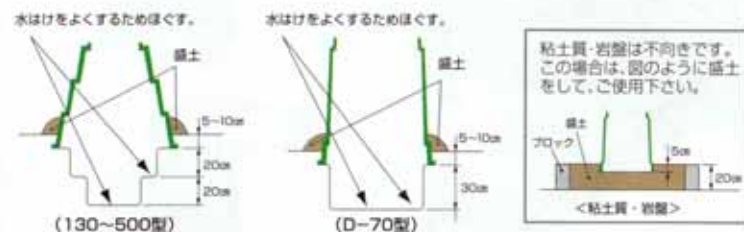
■ 原理

台所で発生する生ゴミは65～85%は水分と言われています。投入された新しい生ゴミは下部の古い生ゴミを押し潰し水分は地中へ吸収されます。また地中のバクテリアの働きにより有機質のゴミは発酵分解し、その容積が大幅に減ります。

■ 設置方法

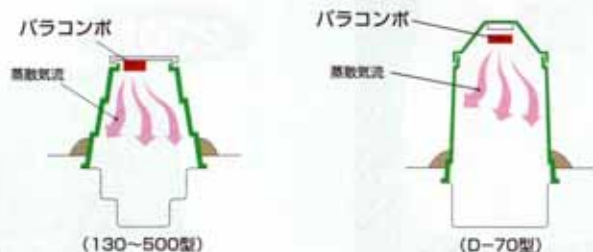
本 体

なるべく日当たりの良い土の上を耕して、コンポスターを地中に埋めて下さい。(下図参照) ゴミ減量効果を高めるには、内側を20cm～40cm程掘ると長期にわたりご使用いただけます。



フ タ

フタ裏側にあるパラコンボケースをはずし、薬剤の包装紙を除去してから再納して下さい。パラコンボは蒸散タイプですので、フタをして2～3日密封し、充分本体内に蒸散後、生ゴミを入れて下さい。



■ 使用方法

1 日当たりのよい土の上をよく耕して、地中10cm位埋めて設置して下さい。

2 台所のゴミ、有機質のゴミならなんでもコンポスターへ投入できます。くさらない金属・ガラス・プラスチック等は投入しないで下さい。

3 台所の生ゴミはほとんどが水分です。水分は地中に吸収されますが、多すぎる場合は枯れ葉・わら・ダンボール片等を投入して下さい。

4 生ゴミの発酵を促進させるため、ゴミ捨てに合わせ時々盛り土からスコップ一杯ほどの土を入れて、よくゴミと混ぜ込んで下さい。

5 生ゴミが20cmぐらいの厚さになりましたら、土を8～9cmの厚さにかけて下さい。生ゴミの発酵を促進させます。

コンポスターはパラコンボ付きですので害虫の発生を防止できます。

6 生ゴミが一杯になったら容器を引き上げて未完全の生ゴミは移設したコンポスターの中に再投入して下さい。(移設方法は右図参照)

■ 移設方法

① 移設地Aに穴を掘りその土をコンポスターの中へ投入します。(防臭)

② コンポスターを引き抜きAへ移動し生ゴミは土で覆って下さい。

③ この作業は臭いしますので、発酵促進剤を充分掛けて下さい。(脱臭)

④ 1ヶ月に2～3回スコップで切り返しながらかんたせてゆきます。

⑤ 3～6ヶ月後、堆肥としてご利用下さい。

※2台を交互に使用されると大変便利です。(土入れと切り返しだけで移設の必要がありません)

補助薬 生活害虫駆除剤

パラコンボ

(適合マーク品)



パラコンボ
詰め替え用
110g×2ヶ入り ¥700

- 主成分パラジクロロベンゼン
いずれも代謝し、生分解をうけますので、生物濃縮したり、土壌に蓄積しません。
- コンポスターの裏フタにセットして使用しますので便利です。

補助薬 発酵促進脱臭剤

- 土中の好気性微生物と嫌気性微生物を、多孔質の石の粉(ゼオライト)に固定したものです。これらの発酵活性微生物の働きで、生ゴミの発酵促進と脱臭を早めます。
- 本剤は、特に秋口から冬期にかけての発酵の遅れに効果的で、土入れと合わせてご使用ください。春・夏の間は土入れのみで充分対応できます。また、移設時のすみやかな脱臭に、土ともにご利用ください。

